

平成 29 年 10 月 5 日
金沢市大豆田本町甲 58
澁谷工業株式会社

— 画期的な「再生医療用細胞製品製造システム」の開発と「戦略的パートナーシップ」の構築 — プロメセーラ社(ベルギー)と業務提携

当社は、体細胞由来治療薬の分野で国際的な再生医療のベンチャーである Promethera Biosciences SA (本社：ベルギー モン・サン・ギベルール市、以下「プロメセーラ社」) と再生医療用細胞製品を臨床グレードかつ商業スケールで製造するシステムの開発に関する業務提携を行うことで合意し、併せてプロメセーラ社へ資本出資を行いました。

プロメセーラ社は、健常人ドナーの肝組織由来の再生医療用細胞製品（他家・細胞医薬品）の開発を行っており、同製品は尿素サイクル異常症（UCD）、慢性肝不全の急性増悪（ACLF）、非アルコール性肝硬変（NASH）などの治療薬として現在、有効性検証の治験を進めています。このため、治療薬を高品質で安全に製造する量産スケールの製造システムの開発を求めており、細胞培養アイソレータ、ロボット自動細胞培養システム、バイオ 3D プリンター等、世界的に高い評価と納入実績を持つ当社に同システム開発の要望が寄せられました。

今回開発する再生医療用細胞製品製造システムは、プロメセーラ社の他家肝組織由来の細胞医薬品である HepaStem[®]を、肝臓組織の細胞から臨床用に調製・培養し高い品質かつ安全に製造するシステムです。製造される再生医療用細胞製品は、ドナー提供された一つの肝臓から数千人の患者を治療することが可能になると言われております。当社では開発した再生医療用細胞製品製造システムを来年夏頃にプロメセーラ社の Gosselies 新工場（ベルギー シャルルロワ市）へ納入する予定であります。

当社は、肝臓の再生医療において既に山口大学から自家細胞を使用した培養式の自己骨髄細胞投与療法（ABMi療法）の独占実施権を得ておりますが、プロメセーラ社のグローバル戦略により将来、今回業務提携した同社の他家・再生医療用細胞製品も日本国内市場向けに当社の細胞培養加工センターで製造し、販売することも考えられ、肝硬変症の再生治療において新たな細胞ソースと製造技術による相互補完が期待されます。当社は、肝硬変症を自家細胞と他家細胞の両面の治療方法で再生医療の普及に貢献して参ります。

<Promethera Biosciences SA の概要>

- ・会社設立： 2009年2月
- ・事業内容： 他家・細胞医薬品の開発
- ・CEO： John Tchelingerian
- ・URL： <http://www.promethera.com/>

以上